

入ゼミ選考についての回答用紙

組織名	他学部	PEARL 証1	募集人員	A日程 3月12日(火)						B日程 3月26日(月)～3月27日(火)									
				願書提出 証3	筆記試験	筆記試験科目・分野および試験申込条件	面接試験	レポート (テーマ・提出期限・提出先等)	備考	成績表コピー 証5	選考実施日 証6	願書提出 証3	筆記試験	筆記試験科目・分野および試験申込条件	面接試験	レポート(テーマ・提出期限・提出先等) 証4	備考	成績表コピー 証5	
赤林英夫	可	可	A)約10名 B)不足がある場合 A) About 10 students B) a few students if there is a shortage	経済学部ゼミナール委員会のフォーラムにて提出 提出期限:2月7日23:59 提出先:yusaku.kuwahara@gmail.com Use the format which is on the HP of Faculty of Economics Seminar Committee. Submit to the student in charge of selection. (yusaku.kuwahara@gmail.com). The deadline is February 6th, 23:59.	無し None			9:30～レポート課題について専らなる可能性がある) 9:30 The interview may include the topics written in the report 9:30～レポート課題について専らなる可能性がある) 9:30 The interview may include the topics written in the report You can write the report either in English or in Japanese. Use A4 format. The length of the report should not be more than 8 pages. Submit your file in Word or PDF format directly to the instructor's email address (hakab@econ.keio.ac.jp). The deadline is March 6th, 23:59.	詳細は「慶應義塾大学経済学部赤林英夫ゼミナールFacebookページ」を確認ください。 See the Akabayashi Seminar Facebook Page for details.	面接時持参 Necessary at the interview	3月26日(火) March 26th	経済学部ゼミナール委員会のフォーラムにて提出 提出期限:3月15日23:59 提出先:yusaku.kuwahara@gmail.com Use the format which is on the HP of Faculty of Economics Seminar Committee. Submit to the student in charge of selection. (yusaku.kuwahara@gmail.com). The deadline is March 15th, 23:59.	無し None			9:30～レポート課題について専らなる可能性がある) 9:30 The interview may include the topics written in the report 9:30～レポート課題について専らなる可能性がある) 9:30 The interview may include the topics written in the report You can write the report either in English or in Japanese. Use A4 format. The length of the report should not be more than 8 pages. Submit your file in Word or PDF format directly to the instructor's email address (hakab@econ.keio.ac.jp). The deadline is March 24th, 23:59.	詳細は「慶應義塾大学経済学部赤林英夫ゼミナールFacebookページ」を確認ください。 See the Akabayashi Seminar Facebook Page for details.	面接時持参 Necessary at the interview	
秋山 裕	可	可	A)10～15名(欠員が出た場合のみ日程を柔軟)	2月12日23時59分締切 akiyamazeminuzem2018@gmail.com まで、wordもしくはPDFを添付して提出)	9:00～	マクロ経済学、ミクロ経済学、統計学、英語から2科目を選択 申込条件:電卓のみ可	筆記試験終了後	—	—	当日持参	3月26日(火)	3月18日23時59分締切 akiyamazeminuzem2018@gmail.com まで、wordもしくはPDFを添付して提出)	9:00～	マクロ経済学、ミクロ経済学、統計学、英語から2科目を選択 申込条件:電卓のみ可	筆記試験終了後	—	—	当日持参	
新井拓児	可	不可	3人前後	なし	10:00	数字(持ち込み不可)	なし	なし	なし	面接時持参									
飯田 森	可	不可	A)合計6名程度	面接時持参	なし		14:00～	テーマ、資料、検討に際する書物を読み、審査せよ。 提出期限:3月19日23:59締切 提出先:tida@econ.keio.ac.jp 上記のアドレスに[A4-2枚以内]にしてwordファイルを添付		面接時持参	3月26日(火)	面接時持参	なし	14:00～	テーマ、資料、検討に際する書物を読み、審査せよ。 提出期限:3月19日23:59締切 提出先:tida@econ.keio.ac.jp 上記のアドレスに[A4-2枚以内]にしてwordファイルを添付		面接時持参		
池田 幸弘	可	可	A)10名程度 B)5名程度	3月8日23:59締切 以下のアドレスへ送付 keda@econ.keio.ac.jp	—	—	10:00～	—	—	必要ありません	3月28日(火)	3月22日(火)23:59締切	10:00～	経済思想史分野 持ち込み不可	—	—	提出してください		
石井太	不可	不可	A)合計10名程度 (Aで定員に満たない場合はBは行わない)	3月8日(金)23:59締切 以下のアドレスへ送付 ishi-futosh@ips.go.jp	13:00～ 14:00	初等算術・微分代算・統計学、英文読解 申込条件:辞書可	筆記試験終了後	テーマ、人文学部関心のあるテーマ、研究してみたいテーマについて、A4(真40×30)程度で4枚以内にとまとめて提出せよ。 提出期限:3月8日(金)23:59 提出先:ishi-futosh@ips.go.jp	詳細は以下のウェブサイトを参照 http://ishi-futosh.sakura.ne.jp/Lecture/	面接時持参	3月28日(火)	3月22日(金)23:59締切 以下のアドレスへ送付 ishi-futosh@ips.go.jp	13:00～ 14:00	初等算術・微分代算・統計学、英文読解 申込条件:辞書可	筆記試験終了後	テーマ、人文学部関心のあるテーマ、研究してみたいテーマについて、A4(真40×30)程度で4枚以内にとまとめて提出せよ。 提出期限:3月22日(金)23:59 提出先:ishi-futosh@ips.go.jp	詳細は以下のウェブサイトを参照 http://ishi-futosh.sakura.ne.jp/Lecture/	面接時持参	
石橋 孝次	不可	不可	A)15名	2月15日(金)23:59締切以下のアドレスへ送付 shibashi@nuzem2019@outlook.com	9:00～	ミクロ経済学初級(申込不可)	筆記試験終了後	—	—	—									
井手 英策	可	日本語で参加可能ならば可	A)10名 *A日程の日程が通常開催の場合と異なる場合がございます。	面接時持参	—	—	10時～10時	テーマ、 *本場の専攻論～財政はだけのために」を読み、提案の実現可能性について1000字(40字×30行)以内で自由に論じなさい。 提出期限:2月21日23:59締切 提出先:ask_id@econ.keio.ac.jp 上記のアドレスにwordファイルを添付。	合格者は、3/4-5の空席に参加して頂きます。詳細は希望者へメールでお知らせします。	面接時持参									
伊藤聖聖	No	This seminar is primary for PEARL students	2 or 3 students	Submit application forms by March 1st.	—	—	—	Submit a research proposal by March 1st. The research proposal should be around 3 or 4 pages and contain what you studied in Hyoshi campus as well as your research plan in the seminar.	—	Submit grade sheet with application forms.	3月21日(火)	3月21日(火)	—	—	Submit a research proposal by March 21st. The research proposal should be around 3 or 4 pages and contain what you studied in Hyoshi campus as well as your research plan in the seminar.	Submit grade sheet with application forms.			
伊藤 幹夫	不可	不可	A)B)合計15名	3月11日23:59締切	なし	なし	なし	テーマ:望ましい金融市場を市場効率性の中心にして論ぜよ。 提出期限:3月11日23:59締切 提出先:ito_z@keio.jp 上記のアドレスに[A4-1枚 700字以上800字以内]にしてwordファイルを添付	レポートには参考文献リスト(2項目以上4項目以内)をつけること(字数に含めない)。なおHPの引用は認めない。	不要	3月26日(火)	3月25日23:59締切	なし	なし	テーマ:望ましい金融市場を市場効率性の中心にして論ぜよ。 提出期限:3月25日23:59締切 提出先:ito_z@keio.jp 上記のアドレスに[A4-1枚 700字以上800字以内]にしてwordファイルを添付	レポートには参考文献リスト(2項目以上4項目以内)をつけること(字数に含めない)。なおHPの引用は認めない。	不要		
井深陽子	可	日本語での参加可能ならば可	A) B)合計10名程度	2018年2月11日17時必着	10時～12時	ミクロ経済学、統計学、英語(すべて基礎知識を問うもの、申込不可)	筆記試験終了後	なし	なし	面接時持参	3月26日(火)	2018年3月14日(木)必着	10時～12時	ミクロ経済学、統計学、英語から2題を選択(すべて基礎知識を問うもの、申込不可)	筆記試験終了後	提出期限:3月22日(火)17時、メールにてbushif@econ.keio.ac.jp宛に提出。テーマ、自身の関心のある経済制度や社会経済制度に関する学術文献を一つ以上読み、論文の内容を要約した上で、その論文を踏まえてどのような研究テーマが考えられるかについて考えを述べて下さい。文献についても研究すること、の量はA4で枚数を目安として下さい。	面接時持参		
植田 浩史	原則不可	可	F)20名	2月15日23:59締切 以下のアドレスへ送付 naraueda@yahoo.co.jp	—	—	08:30～	テーマ:特定の産業、または企業について取り上げ、事業環境と競争構造の変化、現状と課題について述べよ。 提出期限:2月24日23:59締切 提出先:naraueda@yahoo.co.jp 上記のアドレスに[A4-10枚1万字程度]にしてpdfファイルを添付	提出なし										
大塚 昌夫	可	不可	A)約18名	2月7日23:59締切。以下のアドレスへ送付 oakin2019@hotmail.com	—	—	9:00～	第1課題のテーマは「世界経済の経済行動への影響 アンケート調査による研究」。第2課題のテーマは「世界経済の経済行動への影響のせも3年生でのグループ研究に、自分はどういうに貢献できるか」。 提出期限:2月28日23:59。 提出先:ogakin2019@hotmail.com にメール。第1課題は本文2000字以内(その他の表と合わせて、図を1つまで)。アンケート質問票(pdfかMS-Wordファイル)と、5人以上に聞いた結果のデータをMS-Excelファイルに入れ、回帰分析結果を得たものを添付。第2課題500字以内でpdfかMS-Wordファイルを送付	—	—									
大久保 敏弘	可	日本語で参加可能ならば可	A)B)合計16名	3月10日(日)23:59締切 以下のアドレスへ送付 hvsukematsu@naga@keio.jp	13:00～	マクロ経済学、ミクロ経済学、統計学	筆記試験終了後	なし		面接時持参	3月26日(火)	3月24日(日)23:59締切 以下のアドレスへ送付 hvsukematsu@naga@keio.jp	13:00～	マクロ経済学、ミクロ経済学、統計学	筆記試験終了後	なし	面接時持参		

太田 理	可	可	A)B) 一般生9名、PEARL生3名程度の12 students in total including 3 PEARL students 全て可 ただし所属で、日本語実習の履修を行うので、日本語能力は少し必要。	2月5日23:59締切 以下のアドレスに送付 otaf@econ.keio.ac.jp	—	10:00~	テーマ①下記の課題図書から2つの章を選び、そこで行われている議論に対して自分の意見を述べよ。②なぜ本研究会に入りたいのか、入れた場合に何をどのように研究したいかを具体的に記す。 課題図書: 高橋孝平編『消費者の行動分析』(慶応義塾大学出版会、2003年) 作成・提出方法: 2つのテーマを両方とも、A4・10ポイン・1.5スペース・3枚以内で表のフォーマットとして書き、下記アドレスにファイルを添付して送る。 提出先: otaf@econ.keio.ac.jp 提出期限: 3月4日23:59 Write an essay, including the following 2 themes. (1) Choose any 2 chapters from the following text, and give your opinions over the arguments there. (2) Describe why you want to participate in this seminar, and what you want to do research about if you are accepted. Text: Kurusawa Aiko & William Bradley Horton (eds), Consuming Indonesia: Consumption in Indonesia in the Early 21st Century (Jakarta: Gramedia Pustaka Utama, 2015). Write your essay, including the above-mentioned 2 themes, within 3 pages in A4 file, 10 point, 1.5 space, and send it to otaf@econ.keio.ac.jp as an attached file before 23:59 on 3 March.	授業でのディスカッションおよびグループ研究における打ち合わせは、日本語および英語で行う。書意能力を従前レベルに保ちたいが、学生は両方の言語を習得し、コミュニケーション能力を向上させる意図を持つこと。 Both Japanese and English are used in the discussions in the classes and team research. Language skills are NOT a criterion of the selection, but students must learn both languages and must improve their communication skills.	面接時参加 Submission in the interview	3月28日(火)	3月19日23:59締切 以下のアドレスに送付 otaf@econ.keio.ac.jp	—	10:00~	テーマ①下記の課題図書から2つの章を選び、そこで行われている議論に対して自分の意見を述べよ。②なぜ本研究会に入りたいのか、入れた場合に何をどのように研究したいかを具体的に記す。 課題図書: 高橋孝平編『消費者の行動分析』(慶応義塾大学出版会、2003年) 作成・提出方法: 2つのテーマを両方とも、A4・10ポイン・1.5スペース・3枚以内で表のフォーマットとして書き、下記アドレスにファイルを添付して送る。 提出先: otaf@econ.keio.ac.jp 提出期限: 3月4日23:59 Write an essay, including the following 2 themes. (1) Choose any 2 chapters from the following text, and give your opinions over the arguments there. (2) Describe why you want to participate in this seminar, and what you want to do research about if you are accepted. Text: Kurusawa Aiko & William Bradley Horton (eds), Consuming Indonesia: Consumption in Indonesia in the Early 21st Century (Jakarta: Gramedia Pustaka Utama, 2015). Write your essay, including the above-mentioned 2 themes, within 3 pages in A4 file, 10 point, 1.5 space, and send it to otaf@econ.keio.ac.jp as an attached file before 23:59 on 24 March.	授業でのディスカッションおよびグループ研究における打ち合わせは、日本語および英語で行う。書意能力を従前レベルに保ちたいが、学生は両方の言語を習得し、コミュニケーション能力を向上させる意図を持つこと。 Both Japanese and English are used in the discussions in the classes and team research. Language skills are NOT a criterion of the selection, but students must learn both languages, and must improve their communication skills.	面接時参加 Submission in the interview
太田聡一	可	可	日本語で参加可能ならば可	2月7日23:59 締切 以下のアドレスに送付 ohsaseminar2019@yuzem@gmail.com	—	10:00~	テーマある労働問題に関する現状と、反対意見と、それに対する打ち手を送る。(共通課題一つ、自由課題から一つ)。 提出期限: 3月5日23:59締切 提出先: ohtsaseminar2019@yuzem@gmail.com 上記のアドレスに用意する問題フォーマットをpdfにて添付	—	3月26日(火)	3月15日23:59締切	—	10:00~	テーマある労働問題をテーマに関する論文の作成 提出期限: 3月20日23:59締切 提出先: ohtsaseminar2019@yuzem@gmail.com 上記のアドレスにpdfファイルを添付し提出	—		
大西 広	可	可	日本語で参加可能ならば可	3月10日23:59締切以下のアドレスに送付 agaya@keio.jp	—	10:00~	マクロ経済学を学びたい理由について述べよ。 3月10日23:59締切以下のアドレスに送付 agaya@keio.jp	3	3月28日(火)	3月19日23:59締切 以下のアドレスに送付 agaya@keio.jp	—	10:00~	マクロ経済学を学びたい理由について述べよ。 3月23日23:59締切以下のアドレスに送付 agaya@keio.jp	3	面接時2枚時参加	
大沼あゆみ	可	可	日本語で参加可能ならば可	A)B)合計15名 2月7日までに以下のアドレスに送付 koshitsuzuki@td13@kaiyok.jp	なし	10:00集合 その後開始	テーマは、送って着てのホームページに掲載します。 提出期限: 3月5日(水)23:59締切 提出先: koshitsuzuki@td13@kaiyok.jp 上記のアドレスにwordファイルを添付して送って下さい。	—	当日時参加 3月26日(火)	3月15日までに以下のアドレスに送付 koshitsuzuki@td13@kaiyok.jp	なし	なし	10時集合 その後開始	面接時時参加		
大平智	可	可	可能です。日本語を用いて活動していきます。	約12名 2月28日23:59までにメールにて送付して下さい。メールアドレスは別途案内します。	ありませぬ。	10:00~	詳しくはゼミサイトを参照してください。	—	面接時に時参加して下さい。	3月26日(火)	3月15日までに以下のアドレスに送付 koshitsuzuki@td13@kaiyok.jp	なし	なし	10時集合 その後開始	面接時時参加	
尾崎 裕之	可	可	日本語で参加可能ならば可	A)10名程度 筆記試験時参加	10:00~	14:00~	選択問題(映画に関する問題)の計算経済学に関する問題 詳細はゼミのツイッターを参照のこと。	—	不要	3月26日(火)	3月15日までに以下のアドレスに送付 koshitsuzuki@td13@kaiyok.jp	なし	なし	10時集合 その後開始	面接時時参加	
高佐佐保子 Sahoko KAJI	可	可	Open to applications by students from other faculties	Total of about 10 will be admitted. Open to application by PEARL students are admitted in the exam. There will be no B exam.	9:00~	9:00~	The written exam (macro and micro economics) is in English. It will start at 9:00 am and last for 60 minutes. Applicants can bring in an English-Japanese dictionary. Applicants who meet the requirements for entering POC take only the oral examination.	—	Applicants should bring a copy of their transcript to the examination. This will not be returned.	3月26日(火)	3月19日23:59締切 以下のアドレスに送付 otaf@econ.keio.ac.jp	9:00~	9:00~	The written exam (macro and micro economics) is in English. It will start at 9:00 am and last for 60 minutes. Applicants can bring in an English-Japanese dictionary. Applicants who meet the requirements for entering POC take only the oral examination.	The oral examination is given by the professor and current students, and takes place after the written examination.	Applicants should bring a copy of their transcript to the examination. This will not be returned.
片山 翔太	可	可	可	A)5名程度 B)若干名	3月1日23:59締切 以下のアドレスに送付 fujimoto@gmail.com	—	14:00~	—	面接時時参加	3月26日(火)	3月19日23:59締切 以下のアドレスに送付 kawai.nyuzem@gmail.com	—	10:00~	—	当日時参加	
河井 啓希	不可	不可	不可	16名 3月5日23:59締切 以下のアドレスに送付 kawai.nyuzem@gmail.com	10:00~	10:00~	ミクロ経済学・統計学	筆記試験(グループディスカッション)終了後	当日時参加	3月26日(火)	3月19日23:59締切 以下のアドレスに送付 kawai.nyuzem@gmail.com	—	10:00~	—	当日時参加	
河端 瑞貴	可	可	日本語で参加可能ならば可	A)B)合計約15名 登録日より1週間以内(2/14 23:59まで)にフォームにて提出。(応募者別途連絡)	9:30~10:30	9:30~10:30	統計学、ミクロ経済学(電子機器を除きすべて持ち込み可。ウェアラブル端末は不可)。	13:15~(筆記試験合格者のみ)	当日時参加(12年生は秋学期も含む。学籍番号、氏名を記載した、keio.jpの署名可。複数枚の場合はホッチキスどめ)。	3月26日(火)	3月15日までに以下のアドレスに送付 https://twitter.com/wbtl_seminar お知らせします。	—	—	—	当日時参加	
川俣 雅弘	可	可	可	20人 2/6 15:00 登録	9:00~	9:00~	ミクロ経済学、英語 申込条件・詳細	筆記試験終了後	—	3月26日(火)	3/4 15:00 登録	9:00	9:00	ミクロ経済学、英語申込条件・詳細	筆記試験終了後	—
神田 さやこ	可	可	Conditional (The exam is conducted in Japanese.)	A)B)合計10名 面接時参加	なし	13:00~	—	—	面接時時参加	3月26日(火)	面接時時参加	なし	13:00~	—	面接時時参加	
木村 福成	可	可	可(日本語、英語いずれの使用も可)である。	A)約16名 2月7日以降希望者に送られるメールアドレス宛に3月4日23:59までに提出。	9:00~	9:00~	小作文、「経済活動のグローバル化に際しては課題を1つ取り上げ、その解決に向けて経済学はどのように立ち回らなければならないか」という問いに答える形で、当日1時間半の時間内に執筆してもらう(持ち込み不可)。日本語でも英語でもよい。	13:00~(日本語または英語)	2019年秋から留学予定の学生を教指導する。新4年生(通称)経済学を専攻することを条件に受け入れる。	当日時参加(氏名・学籍番号の記入を忘れず。)	3月26日(火)	3月19日23:59締切 以下のアドレスに送付 y-kasa@keio.jp	—	13:00~	—	面接時時参加
黒野 盛光	不可	不可	不可	A)B)合計10名程度 3月4日23:59締切	11:00~11:50	13:00~	ミクロ経済学(指定した問題から出題。問題はホームページ https://sites.google.com/site/mkurino/japanes-e/site/recruitで指定する)、申込不可	なし	面接時時参加	3月26日(火)	3月18日23:59締切	なし	13:00~	なし	面接時時参加	
小林 慶一郎	可	可	日本語で参加可能ならば可	A)10名 B)若干名 2月28日23:59締切 以下のアドレスに送付 y-kasa@keio.jp	—	13:00~	—	—	面接時時参加	3月26日(火)	3月19日23:59締切 以下のアドレスに送付 y-kasa@keio.jp	—	13:00~	—	面接時時参加	
駒形 哲哉	可	可	以下2つの条件を満たす場合のみ日本語で報告資料を作成し、日本で議論ができると、芝罘字報から参加できると	A)B)合計10名 2月11日(水)23:59締切 以下のアドレスに送付 marikamiyagawa@gmail.com	なし	9:30集合 面接内容:①新聞等から選択した記事の分析プレゼンテーション②質疑(プレゼン資料は当日持参)③志願票の内容に関する面接 *詳細は入ゼミ担当まで問い合わせてください。	—	不要	3月26日(火)	3月22日(火)23:59締切 以下のアドレスに送付 marikamiyagawa@gmail.com	なし	9:30集合 面接内容:①新聞等から選択した記事の分析プレゼンテーション②質疑(プレゼン資料は当日持参)③志願票の内容に関する面接 *詳細は入ゼミ担当まで問い合わせてください。	—	不要	不要	
駒村 康平	可	可	日本語で参加可能ならば可	15名前後 ゼミ委員長10名程度のものを2月10日23:59までに以下のアドレスに送付 koshirata@keio.jp	9:00~	9:00~	課題図書に関する筆記試験。持ち込み不可	並行して実施	当日時参加	3月26日(火)	3月22日(火)23:59締切	なし	10:30~	—	面接時時参加	
櫻川 昌哉	可	可	可	A)B)合計10名 3月1日23:59締切 以下のアドレスに送付 38460by@keio.jp	10:00~	10:00~	以下の三つのテーマから、一つ選び、自分の考えを2000字程度で述べよ。提出期限:3月1日23:59締切 「経済的観点を含めて今後の日本関係のあり方を論じなさい。」「好ましい投資先の国と分野について述べなさい。」「あなたが就職先を考えた際、どのような政策をすすめるか述べなさい。38460by@keio.jpに(A4・2000字程度)wordファイルを添付	—	面接時時参加	3月26日(火)	3月22日(火)23:59締切	なし	10:30~	—	面接時時参加	
後藤 祐己	可	可	可。ただし日本語の文法の勉強と日本語実習は必ず、ディスカッションに積極的でない場合のみB日程が実施。	A)B)合計12~16名 各自、自由に讀書を作成し(フォーマットは自由)、3月5日(水)23:59までに、入ゼミ担当の馬場悦史(yoshie-shi@keio.jp)にメールで送付してください。	10:00~	13:30~	初歩的なミクロ経済学・マクロ経済学。持ち込み不可。	なし	不要	3月26日(火)	3月22日(火)23:59締切 各自、自由に讀書を作成し(フォーマットは自由)、3月10日(土)23:59までに、入ゼミ担当の馬場悦史(yoshie-shi@keio.jp)にメールで送付してください。	10:00~	10:00~	初歩的なミクロ経済学・マクロ経済学。持ち込み不可。	なし	不要
塩澤 修平	可	可	可	15名程度 提出無し	10:00~	11:20~	マクロ・ミクロ経済学、英語	なし	当日時参加	3月26日(火)	3月22日(火)23:59締切	なし	11:20~	なし	当日時参加	

白井義典	不可	可	A12名程度(日程のみの開示予定) 2月20日23:59締切 kazu_zu_96@yahoo.co.jpに提出	9時~10時30分(約1時間半の試験期間)	ミクロ経済学、ミクロ経済学を英語で出題(持込条件:英和辞書、紙媒体の可)	筆記試験終了後、今年は教授面接を行う。ただし、志願者が多い場合は是切りを行う可能性もある	過去問はPDFアップロードする予定	不要	今のところ選考の予定無し	~yohraif@econ.keio.ac.jp (白井教授) ~kazu496@yahoo.com (入ゼ担当:石高壽史)	-	-	-	-	-	-	-	-												
南星 竜	可	可	A)合計18~10名。それと別に日本語で参加可能なならば可(専断来レポート+英語は英語でも提出可)	3月5日23:59締切。susato@keio.jpに提出。	10:00~	A/B生:試験範囲は、神島博子正義とほかの(中)新書、2018年の第一~第三まで、持ち込み不可。基本的な概念の理解を問う。PEARL students The exam coverage is Chaps. 2, 3, 5, and 9 in Michael Sandel, Justice: What's the Right Thing to Do? (Penguin, 2010, Japanese translation is available). MCQ and fill-in-the-blank type questions about the basic concepts and ideas (in English).	筆記試験による是切りあり。	不要	3月26日(火)	2018/3/20(水)23:59締切 susato@keio.jpに送信	10:00~	A/B生:試験範囲は、神島博子正義とほかの(中)新書、2018年の第一~第三まで、持ち込み不可。基本的な概念の理解を問う。PEARL students The exam coverage is Chaps. 2, 3, 5, and 9 in Michael Sandel, Justice: What's the Right Thing to Do? (Penguin, 2010, Japanese translation is available). MCQ and fill-in-the-blank type questions about the basic concepts and ideas (in English).	筆記試験終了後12:00ごろ~	-	-	-	-	-	筆記試験による是切りあり。日本語で専断来生を誘った場合は日本語の選考は行わない。	不要										
須田 伸一	不可	不可	A)B)合計10~15名 3月5日23時59分締切 入ゼ担当にメールで連絡	11:00~	ミクロ経済学、マクロ経済学、指定テキストあり、持ち込み不可	筆記試験終了後	指定テキスト:伊藤元重ミクロ経済学 第3版1章~10章、福田博一、熊山博樹「マクロ経済学入門」第3版1章~8章	当日持参	3月26日(火)	3月19日23時59分締切 入ゼ担当にメールで連絡	11:00	ミクロ経済学、マクロ経済学、指定テキストあり、持ち込み不可	筆記試験終了後	-	-	-	-	-	指定テキスト:伊藤元重ミクロ経済学 第3版1章~10章、福田博一、熊山博樹「マクロ経済学入門」第3版1章~8章	当日持参										
高草木光一	可	不可	10名程度 3月5日23:59締切 kakuasag2019@gmail.com宛に送信	なし		10:00~	人文科学もしくは社会科学系の著作の書籍を、今までに読んだ人文科学・社会科学系の著作1冊を添付したもの		3月26日(火)	3月19日23:59締切	なし	A日程と同じ		-	-	-	-	-												
竹森 俊平	可	可	A)10名前後 面接持参	10:45~	英語で論文読解、電子辞書持ち込み可	-	-	-	実施なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
武山 政直	可	可	ゼミの活動日に参加可能な方は、2019年1月~2021年3月の期間において、ゼミは日本語で行います。	A)B)合計12名程度 2月7日(日)17:00締切 以下のアドレスに送信 takeyama2019@gmail.com			ゼミのホームページに掲載し提出方法を載せたホームページのURLを提出	面接持参	3月26日(火)	3月16日(日)24:00締切 http://keg/keg/ab/提出期限:3月1日24:00締切			10:00~を予定 詳細はゼミのホームページで告知	ゼミのホームページに掲載し提出方法を載せたホームページのURLを提出	面接持参	3月26日(火)	3月16日(日)24:00締切 http://keg/keg/ab/提出期限:3月1日24:00締切			面接持参										
田中 辰雄	可	不可	A)B)合計15名 新書は経済学部ゼミナール委員会のHPのものを使用 提出方法:レポートと共に提出 提出締め切り日:3月4日(月) 提出場所:詳細はTwitterに掲載	なし		あり(1200~)	学校指定版のひびにゼミホームページ及びTwitterに掲載 概要:次のどちらかからテーマでレポート提出 1)簡単な図解分析(テーマで自由) 2)簡潔な図解でテーマをまとめてレポート(過去の入ゼミレポートを参照のこと) 提出締め切り日:場所等は圖書室と同じ。PDFと印刷したものも再提出可	面接持参	3月26日(火)	新書は経済学部ゼミナール委員会HPのものを使用 提出方法:レポートと共に提出 提出締め切り日:3/24(日) 提出場所:メール提出と紙提出。詳細はTwitterに掲載	なし		あり(午後・時間未定)	学校指定版のひびにゼミ公式Twitterに掲載 概要:次のどちらかからテーマでレポート提出 1)簡単な図解分析(テーマで自由) 2)簡潔な図解でテーマをまとめてレポート。(過去の入ゼミレポートを参照のこと) 提出締め切り日:場所等は圖書室と同じ。PDFと印刷したものも再提出可	面接持参	3月26日(火)	新書は経済学部ゼミナール委員会HPのものを使用 提出方法:レポートと共に提出 提出締め切り日:3/24(日) 提出場所:メール提出と紙提出。詳細はTwitterに掲載			合格者は夜に教選委を行うので予定を空けておいてください。	面接持参									
玉田 康成	可	可	A)20名 2月28日23:59締切 以下のアドレスに送信すること kenada@econ.keio.ac.jp	9:30~	ミクロ経済学、持込不可	筆記試験終了後	A4横・1枚、800字以内の研究計画書3月10日23時59分までに以下のアドレスに送付すること kenada@econ.keio.ac.jp																							
津浦正俊	可	可	A)合計10名程度 A日程で意見を述べたい場合はA日程を行う	試験日に持参(筆記試験開始前に提出)。 ゼミナール委員会のHPでダウンロードできる新書フォームを使用すること。	9:00~	ミクロ経済学 持ち込み不可	13:00~		面接持参	3月26日(火)	試験日に持参(筆記試験開始前に提出)。 ゼミナール委員会のHPでダウンロードできる新書フォームを使用すること。	9:00~	ミクロ経済学 持ち込み不可	13:00~																
寺井 公子	可	可	A)合計16名。A日程程度の新書。募集人員に達しなかった場合は、B日程を実施する。	2月14日23:59締切 以下のアドレスに送信 kei@econ.keio.ac.jp			9:00~	テーマ「書籍、論文、あるいは新聞記事から、我が国の経済政策・公共政策に関して興味のあるテーマを一つ取り上げ、それについて議論しない」(字数:3000~4000字)○取り上げたい論文のタイトル、著者名、発行年月(日)等を明記すること○提出期限:3月5日23:59締切○提出先:kei@econ.keio.ac.jp(上記のアドレスにwordファイルを送付して送付のこと)	面接持参	3月26日(火)	3月17日23:59締切			9:00~	テーマ「書籍、論文、あるいは新聞記事から、我が国の経済政策・公共政策に関して興味のあるテーマを一つ取り上げ、それについて議論しない」(字数:3000~4000字)○取り上げたい論文のタイトル、著者名、発行年月(日)等を明記すること○提出期限:3月5日23:59締切○提出先:kei@econ.keio.ac.jp(上記のアドレスにwordファイルを送付して送付のこと)	面接持参	3月26日(火)	3月17日23:59締切												
長倉大輔	可	可	http://user.keio.ac.jp/~nagakura/jindex.html の入ゼミについてを見て下さい。何か質問がある場合は nagakura@econ.keio.jp (志望者連絡先)までお知らせ下さい。																											
中嶋 亮	可	可	日本語で参加可能な方は可	A)合計15名程度 提出期限:3月5日(火)午前0時00分 (時間厳守)	なし	10:00~	レポート① 伊藤公一著「データ分析の力—因果関係に迫る思考法」(光文社新書:2017年)の第一巻と第二巻を併せて以下の問いに答えなさい(1)第一巻後半「新聞やテレビで述べられていることの多くは、相関関係に基づく解釈に因果関係のごく外れているものなので正しい」記がある。このようにメディアが相関と因果を混同して伝えてくれる例を自分で発見し、何故それが相関と因果の取り違えかと思えるかを、本文の記述に関して説明しなさい。(問2)第二巻は因果関係の判定における自己選択(self-selection)の問題が解説されている。「自己選択を含むグループ分けはビジネスの世界でも政策分析の世界でも多用されている」という記述があるが、自己選択が発生している因果関係を自分で設計して見なさいと思わせる分析例を提示し(本文で示されている例ではなく自分で見つけること)、自己選択の問題を解決するために、どのような解決策が考えられるか具体的に記述しなさい。解法はA4用紙1枚書き。合わせて4~5枚程度で簡潔にまとめよ(手書き不可)。 レポート② 英文新聞記事を選んで用意した質問に答えること。3月1日(金)午前0時00分(時間厳守)までに担当教員にメールし、英文新聞記事と質問および解答用紙を受け取ること。 レポート③ ゼミに入って三田論文または卒業論文でどのような実証経済研究を行ったか。その研究結果をA4用紙1枚書きで、3~4枚程度でまとめよ(手書き不可)。3月1日(金)午前0時00分(時間厳守)までに担当教員にメールし、フォーマット(MSWord形式)を受け取ること。 注意:担当教員のメールアドレスは以下に記した。なおレポート①、②、③の提出先も同じメールアドレスとなる。 ryu@akijima.seminar@gmail.com レポート提出期限:3月5日(火)午前0時00分(時間厳守)	10:00~	筆記試験は実施しない	不要	3月26日(火)	3月19日(火)	なし	10:00~	レポート① 伊藤公一著「データ分析の力—因果関係に迫る思考法」(光文社新書:2017年)の第一巻と第二巻を併せて以下の問いに答えなさい(1)第一巻後半「新聞やテレビで述べられていることの多くは、相関関係に基づく解釈に因果関係のごく外れているものなので正しい」記がある。このようにメディアが相関と因果を混同して伝えてくれる例を自分で発見し、何故それが相関と因果の取り違えかと思えるかを、本文の記述に関して説明しなさい。(問2)第二巻は因果関係の判定における自己選択(self-selection)の問題が解説されている。「自己選択を含むグループ分けはビジネスの世界でも政策分析の世界でも多用されている」という記述があるが、自己選択が発生している因果関係を自分で設計して見なさいと思わせる分析例を提示し(本文で示されている例ではなく自分で見つけること)、自己選択の問題を解決するために、どのような解決策が考えられるか具体的に記述しなさい。解法はA4用紙1枚書き。合わせて4~5枚程度で簡潔にまとめよ(手書き不可)。 レポート② 英文新聞記事を選んで用意した質問に答えること。3月1日(金)午前0時00分(時間厳守)までに担当教員にメールし、英文新聞記事と質問および解答用紙を受け取ること。 レポート③ ゼミに入って三田論文または卒業論文でどのような実証経済研究を行ったか。その研究結果をA4用紙1枚書きで、3~4枚程度でまとめよ(手書き不可)。3月1日(金)午前0時00分(時間厳守)までに担当教員にメールし、フォーマット(MSWord形式)を受け取ること。 注意:担当教員のメールアドレスは以下に記した。なおレポート①、②、③の提出先も同じメールアドレスとなる。 ryu@akijima.seminar@gmail.com レポート提出期限:3月19日(火)午前0時00分(時間厳守)															
中葉照雄	可	可	A)15 3月11日 23:59締切の切り以下のアドレスに送信 keitoand@hotmail.com	なし	なし		第一 9:00~ 第二 13:00~	面接一部は一部通過者のみ	当日持参																					
中西 聡	可	不可	A)B)合計10~12名 2018年2月8日午後5時締切。以下のアドレスに送付すること。経済学部でもゼミナール委員会のポスターダウンロード。stnaka@econ.keio.ac.jp			13:00~	テーマ:本研究会は日本経済の歴史(主に江戸時代~第二次世界大戦まで)をテーマとして、その歴史の歴史についてどのような視点からどのように研究したいかを、これまでの日本経済の歴史に関する学習状況も含めて日本語で2000字程度(まとめて2頁以内)に記述しなさい。 提出期限:2019年2月18日午後5時締切。 提出先:stnaka@econ.keio.ac.jp 上記のアドレスにwordファイルで添付して送付。	面接持参	3月26日(火)	2018年2月20日午後5時締切。以下のアドレスに送付すること。経済学部でもゼミナール委員会のポスターダウンロード。stnaka@econ.keio.ac.jp	13:00~	テーマ:本研究会は日本経済の歴史(主に江戸時代~第二次世界大戦まで)をテーマとして、その歴史の歴史についてどのような視点からどのように研究したいかを、これまでの日本経済の歴史に関する学習状況も含めて日本語で2000字程度(まとめて2頁以内)に記述しなさい。 提出期限:2019年2月18日午後5時締切。 提出先:stnaka@econ.keio.ac.jp 上記のアドレスにwordファイルで添付して送付。	面接持参																	
中村 慎助	可	可	A)B)10~15名 面接持参	9:00~	ミロ経済学:持ち込み不可	筆記試験終了後			当日持参																					
難波 ちづる	可	不可	B)10名程度						3月26日	2018/03/23 11:59分		過去の橋本慶地支配をめぐる「遺産」について、自由に論ぜよ。(6000字程度。参考文献はすべてきちんと明記すること。2018/03/23 11:59分までColumba@econ.keio.jpまで送付のこと。	面接持参																	
長谷川 淳一	可	不可	A)B)合計若干名~10名程度 3月5日23:59締切 以下のアドレスに送信 hagawa@econ.keio.ac.jp なお、当日も同様のものを持参	13:00~	高度成長期を中心とした都市政策に関する問題で、内容は「都市計画法の制定に関する考察(1)~(7)」【自由学芸雑誌】102巻第1~103号にとづくもの。論文持ち込み可。	筆記試験終了後	筆記試験について、自作でまとめたノート、論文持ち込み可	面接持参	3月26日(火)	3月19日23:59締切 以下のアドレスに送信 hagawa@econ.keio.ac.jp なお、当日も同様のものを持参	13:00~	高度成長期を中心とした都市政策に関する問題で、内容は「都市計画法の制定に関する考察(1)~(7)」【自由学芸雑誌】102巻第1~103号にとづくもの。論文持ち込み可。	筆記試験終了後	-	-	-	-	-	筆記試験について、自作でまとめたノート、論文持ち込み可	面接持参										
廣瀬 康生	可	不可	A)B)合計15~10名 レポートと一緒に提出			14:00~	テーマ:本研究会に参加するにあたり、どのような準備をされたか(レポートの内容)について、自作でまとめたノート、論文持ち込み可	面接持参	3月26日(火)	レポートと一緒に提出				14:00~	テーマ:本研究会に参加するにあたり、どのような準備をされたか(レポートの内容)について、自作でまとめたノート、論文持ち込み可	面接持参	3月26日(火)	レポートと一緒に提出												
福岡 正大	可	可	A)B)合計10名 2月15日23:59締切 提出先: fuku@hara.zem@gmail.com 面接先: fuku@hara.zem@gmail.com 面接先: fuku@hara.zem@gmail.com 上記のメールアドレスにpdfを添付	10:30	グループディスカッション	筆記試験終了後	ケーススタディに関するレポート 提出期限:3月5日23:59締切 提出先: fuku@hara.zem@gmail.com 面接先: fuku@hara.zem@gmail.com 上記のアドレスに[100words以内]のレポートをpdfフォーマットにて提出	面接持参	3月26日(火)	3月22日23:59締切 提出先: fuku@hara.zem@gmail.com 面接先: fuku@hara.zem@gmail.com 上記のアドレスに[100words以内]のレポートをpdfフォーマットにて提出	10:30	グループディスカッション	面接持参																	

藤田康範	可	日本語で参加可能ならば可	A日程のみで15名程度を募集していますが、応募者数によって合格者数を調整させていただきます。例年合格者数は30名程度です。	3月9日23:59締切 y.fujita@econ.keio.ac.jpに送付して下さい	9:00～	日本語、経営学、ミクロ経済学から1科目を選択 持ち込み不可 予キストおよび範囲については藤田康範研究会HPをご覧ください。	筆記試験終了後 課題については藤田康範研究会HPをご覧ください 3月9日23:59締切 y.fujita@econ.keio.ac.jpに送付して下さい	任意です 自分の個性を表現する上で必要と思うのであれば面接時に持参して下さい													
藤原一平	可	日本語で参加可能ならば可	A)B)合計20名程度	提出無し	10:00	テーマ「ゼミの志望動機」および「経済学に関する小エッセイ」 提出期限:3月6日23:59締切 提出先: fujisawa.yuzumi@gmail.com 上記のアドレスに、それぞれ[A4-1枚 1600字以内]にまとめて、pdfファイルを送付	面接時持参	3月26日(火)	提出無し											テーマ「ゼミの志望動機」および「経済学に関する小エッセイ」 提出期限:3月20日23:59締切 提出先: fujisawa.yuzumi@gmail.com 上記のアドレスに、それぞれ[A4-1枚 1600字以内]にまとめて、pdfファイルを送付	面接時持参
藤原グレーヴァ子	不可	日本語で参加可能ならば可	A)B)合計10-12名程度	試験前日の正午までに以下のアドレスに送付。 takakof@econ.keio.ac.jp	10:30～	ミクロ経済学 持ち込み条件:英和辞典		筆記試験当日に印刷したものを持参	3月26日(火)	試験前日の正午までに以下のアドレスに送付。 takakof@econ.keio.ac.jp	10:30～	ミクロ経済学 持ち込み条件:英和辞典								筆記試験当日に印刷したものを持参	
穂刈享	可	可	A)B)合計15名程度	3月8日23:59締切 以下のアドレスに送付 hokari@econ.keio.ac.jp	10:30～	ミクロ経済学、数学 持込不可			3月26日(火)	3月23日23:59締切 以下のアドレスに送付 hokari@econ.keio.ac.jp	10:30～	ミクロ経済学、数学 持込不可									
星野崇宏	可	日本語で参加可能ならば可	A)最大20名	提出期限:3月7日15:00 提出先:keihoshinoseminar@att-mag.com *各をそれぞれのPCでダウンロードし、記入したうえで上記のアドレスに送付して下さい。 *メールは必ずPhishingのメールから送ってください。 *メール題名と添付ファイル名は「～コース希望(氏名)65」としてください。 *解題希望の方のみ、メール本文に「プログラム修験(解題以外のプログラムはごめい)」の項目で必ず希望の他、他プログラムでできることを記載してください *教員や学生の担当室などからの書き込み入りの場合は別紙のPDFで送付可能。	なし	なし	9:00～	主講コースに応じて下記のようにレポートを作成してください(A4で最大3枚)。 提出期限:3月8日23:59締切 提出先:keihoshinoseminar@att-mag.com 上記のアドレスにA4でpdf又はwordファイルを送付 *メールは必ずkeioのメールから送ってください。 *メール題名と添付ファイル名は「～コース希望(氏名)65」としてください。 *「マナーアップ」行動修験コース企業や国、自治体等特定の立場から修験を希望し、それと関係する企業や施設と協力して(社会において革新的な課題を特定して)、立場を選択して頂く(去来)し、独自の論理を表現します。 【修験テーマ】企業や自治体等と共同で行った施策の効果を検証するためには、どのようなデータを取得し、どのような解析を行えば有効であるか、仮説的な例を考えて説明してください。 *Researchについては他のゼミ生とコミュニケーションができる程度に日本語能力があれば受け入れます。その場合2019年秋季からの入ゼミも可能です。 *留学予定、あるいは現時点で留学の学生についての扱いは研究会twitterでの告知を確認してください。	面接時持参 (2018年度春学期の記名成績表+履歴書から印刷した2018年度秋学期までの成績表) 2018年度春学期の記名成績表+履歴書から印刷した2018年度秋学期までの成績表 から10枚程度を想定していますが、出席状況によって人数は変動します。 *他学部学生についても志望コースを選んでください。 *他学部生は別枠で選考します。												
松浦善幸	可	日本語で参加可能ならば可	A)B)合計10名程度	3月8日(金)23:59締切 提出先:matsura@anken.keio.ac.jp	なし	14時～	研究会でどのような研究を行っているかについて、①研究の背景となる社会問題の説明、②どのような方法で研究しているのかを簡潔ながら、A4横書きで、3枚程度でまとめ(手書き不可)、必ず参考文献リストをつけること、3月8日午前23時59分(時間厳守)までに担当教員にメールで提出のこと。	詳細は以下のWEBサイトを参照。 https://sites.google.com/site/matsuratoshyaku/	面接時持参	3月26日(火)	3月23日(金)23:59締切 以下のアドレスに送付 matsura@anken.keio.ac.jp	なし	14時～	研究会でどのような研究を行っているかについて、①研究の背景となる社会問題の説明、②どのような方法で研究しているのかを簡潔ながら、A4横書きで、3枚程度でまとめ(手書き不可)、必ず参考文献リストをつけること、3月23日午前23時59分(時間厳守)までに担当教員にメールで提出のこと。	詳細は以下のWEBサイトを参照。 https://sites.google.com/site/matsuratoshyaku/						
松沢 裕作	可	不可	A)B)合計9名	提出無し	実施しない	10:30～	下記の書籍を読み、書業の見解を要約し、紹介したうえで、本書に対する受験者自身の評価を4000字以内で述べよ 藤原義典「新書叢書」新書新書、2018年 提出期限:3月5日23:59締切 提出先 yuzaku@econ.keio.ac.jp 上記アドレスにWordファイルを送付して送付	面接時持参	3月26日(火)	提出無し	実施しない	10:30～	下記の書籍を読み、書業の見解を要約し、紹介したうえで、本書に対する受験者自身の評価を4000字以内で述べよ 藤原義典「新書叢書」新書新書、2018年 提出期限:3月5日23:59締切 提出先 yuzaku@econ.keio.ac.jp 上記アドレスにWordファイルを送付して送付								
宮内理	可	不可	10名程度						3月26日(火)	3月23日23:59締切 以下のアドレスに送付 i12976@keio.jp i1akunida1203@keio.jp	11:00～	5年度に準ずるべきそのほかゼミ生を募集し、提案してください。そのほかゼミ生を始めるにあたって、今から準備できることも踏まえて書きなさい。 (A4片一枚以内、提出期限3月20日23:59まで)									
山田篤祐	可	日本語で参加可能ならば可	A)約20名	小ゼミ新卒の形式で提出してください 【新書提出期間:2019年2月8日(金)～15日(金)正午迄(必須厳守)】 【新書提出先:メール添付ファイルとして、7枚程度(yamada.seminar2019@gmail.com)宛に送付して下さい。併せては「修験書(氏名)」を明記して下さい。貼り付ける写真のファイルサイズ(1036未満)に注意して下さい。※ 郵送承認メールが2月8日(火)17時までには届かない場合は、入ゼミ権限にご連絡ください。	9:15～	持ち込み不可、出題は「山田篤祐(2014)『最低生活保障と社会扶助政策(第1章のみ)』」『石巻市、②駒形県平(2015)『社会政策(第1章のみ)』』有愛堂の内容に基づき記述問題。	ゼミで指導を希望する研究内容を説明してください。具体的には①研究の背景となる社会問題の説明、②研究の意義、③過去の研究で明らかになっている点・明らかでない点、④どのような方法で研究しているのか、⑤現時点で期待される研究成果、⑥についてA4×5頁以内(1頁:40字×30行)、各項目について各簡潔にまとめてください。6頁以降に参考文献リストを掲げて下さい。 レポート提出期限:2019年3月1日(金)正午迄に必着。 レポート提出先(必ず電子媒体・紙媒体の両方を)期限までに提出してください。①紙媒体:〒108-8345 港区三田2-19-46 慶應義塾大学経済学部山田篤祐研究室(必ず郵送承認)で提出してください。②電子媒体:メール添付ファイルとして入ゼミ権限(yamada.seminar2019@gmail.com)宛に送付して下さい。	しずみ提出時に(2年春学期までの)のゼミを同時してはなし。また面接当日、(2年春学期までの)のゼミ入ゼミ決定された成績表のコピー(学籍番号、氏名を明記)を持参してください。													
山田 浩之	可	不可	A)約10名 B)1日程度で定員数に満たない場合のみ実施予定	指定されたフォーマットに記入した書類を2月8日前10時までメールにてyamada.yuzumi@gmail.comに送付すること。なお手書きの書類は受理しない。	なし		10:00～	教授 面接および学生面接 テーマ①:志望動機(A4を1枚)及び、②今日の国際社会もしくは発達途上国にとって重要と考えられる経済・社会問題一つ取り上げて自分の考えを論じ(A4で枚以内)。実質での作成も可(その場合、①はA4で枚、②はA4で4枚以内)。参考文献の引用・参照箇所は文中・脚注等で明記した上、必ず参考文献リスト(枚数制限に含まれない)を作成すること。同義は枚数制限に含まれない。教員数制限に含まれない)には氏名、学籍番号、及び②に関するタイトルを必ず明記すること。 提出期限:3月1日23:59締切 提出先:hyamada.yuzumi@gmail.com 上記アドレスにPDFファイルとして送付し、メールの件名は「入ゼミレポート(氏名)」とする。	面接時に2枚成績表を含む成績表コピーを持参。												
和田龍樹	可 Yes	可 Yes	A) 約15名 about 15 students. B) 若干名 a few students	面接時持参 Please bring it for your interview	なし None	なし None	10:30～	なし None	面接時持参 Please bring it for your interview	3月26日(火) Tuesday, March 26	面接時持参 Please bring it for your interview	10:30～	マクロ、ミクロ、統計学 Macroeconomics, Microeconomics, Statistics	13:30～	なし None					面接時持参 Please bring it for your interview	